

じゅもくそう 樹木葬

じゅもくそう にほん おこな あたら まいそうほうほう ひと
樹木葬は、日本で 行われている 新しい埋葬方法の一つで
す。日本では、人が亡くなったら火葬をして、石のお墓（墓
せき のうこつ ふつう ぶっきょう ほうほう
石）に納骨するのが普通です。これは仏教の方法です。で
も最近（さいきん）は、他（ほか）にも色々な（いろいろ）納骨方法（のうこつほうほう）があります。

にほんじん あたら のうこつほうほう えら こども
日本人（にほんじん）が新しい納骨方法（のうこつほうほう）を選ぶようになったのは、子供（こども）
がいない人（ひと）が増えたり、無宗教（むしゅうきょう）だったり、石のお墓（いし）が高か
たり（たか）することが大きな理由（りゆう）です。樹木葬（じゅもくそう）は、安（やす）ければ5万（まん）
円（えん）ぐらいでできますが、新しく墓石（ぼせき）を買う場合（か）は、100
万円（まんえん）以上（いじょう）します。また、石のお墓（いし）は手入れ（てい）が大変（たいへん）で、家族（かぞく）
が掃除（そうじ）をしないとすぐに汚（よご）れてしまいます。子供（こども）がいなかつ
たり、遠（とお）くに住（す）んでいたりすると、家族（かぞく）にとって負担（ふたん）になり
ます。それを心配（しんぱい）して仏教（ぶっきょう）の納骨方法（のうこつほうほう）ではなく、樹木葬（じゅもくそう）や
他（ほか）の方法（ほうほう）を選ぶ人（えら）が増え（ふ）ています。

にほん えら ほか まいそうほうほう さんこつ のうこつどう
日本で選（えら）べる他（ほか）の埋葬方法（まいそうほうほう）は、散骨（さんこつ）や納骨堂（のうこつどう）などです。
さんこつ ほね うみ やま ま ほうほう とくべつ きよか ひつよう
散骨（さんこつ）は、骨（ほね）を海（うみ）や山（やま）へ撒（ま）く方法（ほうほう）ですが、特別な（とくべつ）許可（きよか）が必要（ひつよう）で
す。納骨堂（のうこつどう）は、お寺（てら）の中（なか）にあるロッカー（ばしょ）のような場所（ほね）に骨（ほね）を
おさ ほうほう
納（おさ）める方法（ほうほう）です。

